令和6年度の任務達成を祈願

長野　輝く成果と新たな決意
令和6年度出陣式で新たな目標に向けて

長野地方協力本部は4月17日、陸上自衛隊松本駐屯地にて、年間を通じて優れた業績を上げた地域事務所および広報官を称える表彰式を盛大に行いました。

最優秀事務所に輝いたのは、長野地域事務所（長野所）です。その優れた努力と成果が高く評価されました。

決意を新たに長野地本出陣式

また、松本地域事務所も優秀事務所として表彰され、両事務所には顕彰板が引き継がれる栄誉を授けられました。

広報官部門では、寺島1等陸曹（長野所）が令和5年度最優秀広報官に選出され、その卓越した広報活動が讃えられました。木戸2等陸曹（長野所）と酒井2等空曹（飯田出張所）も、優秀広報官としてその名を連ね、表彰状と記念メダルが授与されました。

令和6年度の出陣式では、地本部員たちに良い運気を呼び込むという願いを込めた吉祥開運を象徴する赤いだるまに、副本部長をはじめ、各課長そして事務所長などが、令和6年度の目標達成に向けた決意を新たにし、だるまの目入れを行いました。

最後に力久本部長の目入れで、だるまの左目が完成し、本部長から地本部員を前に目標達成への決意が表明され、地本部員一人一人の心に火をつけて、今年度の任務における成功への道を照らす灯火となりました。

出陣式の締めくくりは、長野地本名物である最優秀地域事務所長の雄叫び「長野地本、行くぞぉ！　オォー！！」で地本全員が団結し、令和6年度の任務に向けて決意を新たにしました。

新潟　令和6年度出陣式開催
だるまの目入れと決意表明

新潟地本全隊員で目標達成を祈願

新潟地方協力本部は4月25日、新潟地本本部庁舎において令和6年度の出陣式を行いました。

式では、各課室長と所長がだるまの目入れを行い、それぞれが決意を表明しました。

続いて副本部長と村岡本部長が目入れをして、その後、全隊員で目標達成を祈願しました。

本部長の訓示では「全隊員は、常在戦場の気概を持ち、各人の職務に誇りを持ち、かつ謙虚に日々成長し、上下左右の連携を密にして、組織力を最大限に発揮することに留意して、任務を完遂していこう」と述べました。

最後に、昨年度の最優秀事務所の佐渡駐在員事務所長の音頭による勝鬨（えいえいおー）で全隊員が参加し、天を衝く程の声を響き渡らせて、出陣式は終了しました。

和歌山　出陣式で任務完遂を誓う
家族会などの激励で新たなスタート

任務完遂を誓う和歌山地本部員

和歌山地方協力本部は4月25日に、令和6年度の出陣式を行いました。

出陣式には、和歌山県自衛隊家族会、隊友会および防衛協会の各会長に表賞として出席いただき、栫（かこい）本部長をはじめ、本部総務課員、募集課員、援護課員のほか、各所長や広報官が参加しました。

出陣式では、自衛隊家族会など協力団体各会長からの激励の後、各所長、各課長、副本部長、本部長の順にそれぞれ決意表明を行い、続いてだるまの目入れを行いました。

その後、本部長が総員に対して訓示を行い、最後に昨年度優秀広報官に選ばれた川本2等陸曹の掛け声のもと、全員で任務完遂を誓い、出陣式を終了しました。

大阪　令和6年度就職補導教育
先輩即応予備自衛官による講義に感銘

大阪地方協力本部援護課予備自衛官室は、4月23日から25日までの3日間、陸上自衛隊信太山駐屯地で開催された「令和6年度就職補導教育」に参加し、各種制度などを説明しました。

この教育は、今年度末に任期満了により退職予定の27人の隊員に向けて行われました。

毎年、多くの任期制隊員が希望する職種や職域への再就職が実現できるように、教育内容を工夫しています。

小林士長と特急ラピート

今年の教育では、予備自衛官制度や即応予備自衛官制度の紹介、採用後の処遇、年間の訓練日程や内容、雇用企業給付金などが説明されました。

特に、即応予備自衛官確保のために、先輩即応予備自衛官による講義が計画され、現在南海電鉄で特急ラピートの運転士として勤務しながら、今年度即応予備自衛官として採用された小林庸弘（のぶひろ）即応予備陸士長の協力を得て行われました。

講義では、小林士長が自身の経験を交えながら、就職先選びや仕事内容、不安解消の手助けなどを同じ任期制隊員出身者ならではの視点から、分かりやすく説明しました。参加者も積極的に質問し、熱心に耳を傾けていました。

参加者からは「先輩からの貴重な話を聞けて良かった」「鉄道会社の運転士という職業に興味が湧いた」「即応予備自衛官は考えていなかったが、話を聞いて挑戦してみたいと思った」などの声が寄せられ、全員が前向きな気持ちで教育を修了することができたようでした。

神奈川　ボランティアでの柔道指導活動
高校生など15人と約3時間汗を流す

高田2曹（前列中央）と記念撮影

神奈川地方協力本部上大岡募集案内所の高田恵一郎2等陸曹は4月2日、私立横浜高等学校（横浜市金沢区）にて、柔道部での指導員のボランティア活動を行いました。

高田2曹は、小学4年生から大学4年生までの13年間柔道に取り組み、防衛大学校勤務時に同校柔道部の顧問や監督として6年間指導にあたった経験を活かし、今回、横浜高校の進路指導担当教諭と調整し、休暇を利用して指導を行いました。

当日は、部員10人のほか、入学予定の中学生5人が練習に参加し、高田2曹から投げ技や寝技のコツに関する指導を受けながら反復練習を行い、約3時間にわたり汗を流しました。

練習中には「技に入るタイミングはどのようにすればよいのか」などの質問をする生徒もおり、高田2曹は、実技を交えながら、体さばきや足さばきの重要性について詳しく指導を行いました。

また、練習後には、自衛隊体育学校や全自衛隊柔道大会のことなど、自衛隊でも柔道が盛んであることを説明し、顧問の教諭から指導に対する感謝のほか、「自衛隊体育学校の研修などの機会があれば、ぜひ参加をしたい」との言葉をいただきました。

静岡　新たな一歩を踏み出す日
満開の桜の下、希望に満ちた未来へ

笑顔で同期との記念撮影

静岡地方協力本部浜松出張所と浜北募集案内所は4月6日、陸上自衛隊武山駐屯地で行われた第117教育大隊一般曹候補生の入隊式に参加しました。

当日は天候に恵まれ、桜が満開の中、両所が担当した10人の入隊者が同期とともに真新しい制服に身を包み、緊張と今後の希望に満ちた表情で式に臨みました。

入隊式に先立ち、しっかりと隊列を組んで隊舎から会場へ行進する姿は、普隊から10日ほどしか経っていないにもかかわらず立派なもので、入隊式に参列した家族は感嘆の声を上げ、シャッターを切っていました。

式が終了すると、入隊者たちは制服から迷彩服に着替え、家族との懇談や記念撮影を楽しみました。

広報官も担当した入隊者たちと再会し「これから3カ月間は厳しい訓練が待っていますが、同期と協力、励まし合って頑張ってください！」と激励しました。

入隊者たちは笑顔で「はい！　頑張ります！」と元気な声を返していました。

徳島　即応予備自衛官の使命を胸に訓練開始
陸自善通寺駐屯地で祝辞と激励

本部長からの激励品贈呈

徳島地方協力本部長は4月6日、陸上自衛隊善通寺駐屯地において、第47普通科連隊第1中隊が実施する「令和6年度即応予備自衛官招集訓練開始式」に来賓として出席し、祝辞を述べました。

席々とした式の中、待田本部長は式を開催する部隊長に感謝の意を表するとともに、訓練に参加する即応予備自衛官へ「崇高な使命を深く自覚し、訓練に黙々と励み、事態に備える姿が国民からの大きな期待と信頼の獲得につながっているということを誇りとしていただきたい」と述べ、敬意を表しました。

また、訓練開始式後の激励式では、本部長から今回参加する徳島地本が管理する即応予備自衛官9人に対し、激励と激励品贈呈を行い、厳しい訓練に立ち向かう即応予備自衛官の訓練意欲の向上を図りました。

青森　人材確保に向けた協定を締結
地域貢献を重視し取り組みを強化

櫻田弘前市長（左）と波邊本部長

青森地方協力本部は4月8日、弘前市役所で、弘前市（櫻田宏市長）と「地域を支える公共交通の人材確保に向けた連携協定」を締結しました。

現在、全国の運送業界では「2024年問題」と呼ばれる人材不足による路線減少や便数の減少などが深刻な社会問題となっています。弘前市においても例外ではありません。

路線バスを例にとると、路線の廃止や路線バス約100便の削減が地域住民の生活インフラに多大な影響を与えています。

この協定は、地域貢献を主眼に、市民などの重要な移動手段である公共交通機関の維持確保に必要不可欠な運行に係る人材の確保と自衛隊における人材確保に向け、弘前市と自衛隊が相互に連携・協力して取り組むことを目的として締結したものです。

今後は、関連する公共交通事業者を各種企業説明会へ招待するほか、職業体験を通じて、退職予定隊員の円滑な再就職支援を実施するとともに、自衛隊の人材確保にも協力が得られることから、募集活動などに期待が寄せられています。

熊本　第8師団創隊・北熊本駐屯地開設記念行事
記念行事で大盛況の募集広報ブース

自衛隊説明コーナーでの広報官

熊本地方協力本部は4月14日、陸上自衛隊北熊本駐屯地で行われた「第8師団創隊62周年・北熊本駐屯地開設67周年記念行事」において、募集広報ブースを展開しました。

当日は天気も良く、なんと5年ぶりの開催ということもあり、多くの来場者が早朝から列を作り、開場とともに駐屯地内へ押し寄せました。

熊本地本の募集広報ブースでは、自衛隊のパネル展示や、限定缶バッジ入りガチャガチャ、自衛隊の説明、そしてブルーインパルスのパイロットと同じ視界を体感できるVRゴーグル体験、さらには制服試着体験を行いました。

募集広報ブースは強い日差しのなかでも終始長蛇の列で大盛況でした。

缶バッジは大小さまざまなデザインがあり、子供たちはガチャガチャで引いた缶バッジに大喜びしていました。中には、当たりや大当たりもあり、それらを引き当てた来場者は大興奮し、ブースはひときわ盛り上がっていました。

また、自衛隊の説明コーナーには、卒業後の進路を検討している学生やその保護者が訪れ、広報官がパンフレットを手にわかりやすく説明していました。

訓練展示を見た来場者からは「カッコよかったです！」「ヘリコプターのパイロットに憧れます」などの感想や「給料や福利厚生について知りたい」といった質問もあり、自衛隊に興味を持ってもらえたようでした。

神奈川　カナダから自衛官の道へ挑戦
メールでの交流を経て叶えた夢

渡戸さん（左）と安樂広報官

神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所の安樂広報官と高橋隊員のサポートを受けて、3月28日に航空自衛隊自衛隊に入隊した渡戸美和（わたんどみわ）さんを紹介します。

渡戸さんとの最初の出会いは、令和5年2月に市ヶ尾募集事務所に届いた1通のメールでした。

「初めまして。私は現在カナダに住んでおり、今年の夏に帰国予定です。来年の4月に自衛官候補生になることを目指しております」と書かれていました。

それ以降、約8千km離れたカナダに住む渡戸さんとの間でメールでのやりとりを重ね、親交を深めていきました。

渡戸さんからは「先日はたくさんの質問へのご回答、誠にありがとうございました。今でもたまにメールを見返し、試験へのモチベーションをキープしております」と感謝の言葉を送ってくれました。

令和5年8月、渡戸さんは無事に帰国し「ご無沙汰しております。昨夜帰国いたしました。今月中にぜひ、市ヶ尾募集案内所へうかがわせてください」とのメールが届きました。

ご家族にも応援されている様子で、令和5年8月22日に初めて訪問してくれました。

これまでの約半年間の交流もあり、渡戸さんはすぐに打ち解け、空自の基地見学に参加して現役隊員と交流したり、試験対策を頑張ったりして、見事試験に合格しました。

3月27日、航空自衛隊府南基地に向けて出発するため、JR新横浜駅に晴れやかな笑顔で現れた渡戸さんは、新幹線の出発時間が迫ると、安樂広報官と高橋隊員に「自分を追い込んで頑張ります」と決意を述べ、別れを惜しみながら手を振り旅立っていきました。

熊本　新旧防衛モニター委嘱式
高田氏への感謝と益田氏の新たな挑戦

委嘱修了証を手にする高田氏（左）

熊本地方協力本部は4月16日、球磨郡あさぎり町の高田酒造場（高田様宅）において令和4年度防衛モニター委嘱終了に伴う伝達式を、4月22日には上天草市役所会議室において令和6年度防衛モニター委嘱式を行いました。

防衛モニターは、わが国の防衛問題および防衛省・自衛隊に関し、広く一般の方の意見および要望などを伺い、じ後の諸施策に反映させることを目的に、防衛事務次官が委嘱するものであり、任期は2年となっています。

任期を終えられる高田啓世（たかたたかひろ）氏には、副本部長より委嘱終了証を伝達し、当モニターとしての任期中のご尽力に感謝の言葉を述べました。

今回、任期を終えられた高田氏からは「各種行事・イベントなどにお誘いいただきありがとうございました。貴重な体験ができました。モニター終了後も、引き続き自衛隊との関わりを持ち続けたいと考えています」とのありがたい言葉をいただきました。

また、令和6年度防衛モニター委嘱者の益田聖奈（ますだせいな）氏には、本部長より委嘱状の伝達および防衛モニター証明書の交付が行われました。

益田氏からは「自衛隊の各種行事やイベントに参加できるのを、楽しみにしております」との意欲的な言葉をいただきました。

静岡　高校生の未来を拓く自衛隊体験会
高校主催の体験型合同企業説明会に参加

高校生に説明する高野候補生

静岡地方協力本部三島募集案内所は、5月1日に学校法人三島学園知徳高等学校（駿東郡長泉町）で行われた3年生向けの体験型合同企業説明会に参加しました。

この説明会では、生徒たちがさまざまな職業について話を聞き、実際に使われている道具に触れたり、仕事を体験することで、将来の職業選択の参考にしました。

14の企業や団体が参加し、自衛隊のブースには25人の生徒が訪れました。

三島募集案内所からは広報官2人と、現在板妻駐屯地第34普通科連隊（御殿場市）で訓練中の高野混大自衛官候補生が講師として参加しました。

彼らは生徒たちに自衛隊の活動内容や、自衛官になるための教育訓練の大変さや面白さ、やりがいなどを伝えました。

生徒たちからは多くの質問があり、その中で「自衛隊に入隊して大変だなと思ったことは何ですか」という質問に対し、高野自衛官候補生は次のように自らの経験を語りました。

「生活環境に慣れることと、10km行進が大変でした。でも、さまざまな年齢の人と同じ部屋で共同生活をするので、打ち解けるのも早く、今は楽しく生活しています。10km行進は大変でしたが、入隊すると自衛官として必要な体力を少しずつつけることができるので、何とか乗り切ることができました」と話しました。

その後、陸上自衛隊の小型トラックの見学や海上自衛隊の手旗信号体験が行われ、生徒たちは「自衛隊の車かっこいい」「手旗信号は、やってみると意外と面白い」と自衛隊の仕事に興味を示していました。

GP-staff
ジーピースタッフ株式会社

開業支援 オーナー募集!!

☑起業・脱サラしてビジネスを始めたい
☑地域に根付いた安定した店舗を長く続けたい
☑初期費用を安く抑えたい
☑自分のお店を持ちたい

1 連日満席!! 街で人気のカレー屋さん
CURRY&COFFEE FOREST
もっと多くの方に食べてほしい・・・これまでカレー店はルーや食材の開発、仕込みが大変という課題がありました。そこで私たちは、完成されたルーや食材を供給することで、仕込み負担の軽減や未経験の方、お1人でもカレー店を始めることができるノウハウを整えました。
屋号変更自由／営業日・営業時間指定なし
業態や店舗規模に合わせたメニュー設計可
開業支援プラン
■オープンサポート費用1,500,000円（税別）※初回契約時のみ
■研修費0円、月会費0円、広告協賛金0円
■ロイヤリティ月額30,000円（税別）

2 フォロワー2.8万人以上の人気スイーツ店
matoi
現在全国25店舗以上展開し、縁ではフルーツサンドだけでなく、クレープやチュロス、その他スイーツ商品を開発し縁商品のラインナップは20種類を超えています。フルーツサンドだけでなく様々なスイーツを店頭に並べることができます。
フルーツサンドは、店内製造or商品仕入れがお選びいただけます。
縁と別ブランドの組み合わせも可能
例えば9～5月はフルーツサンド専門店 6～9月はかき氷専門店
開業支援プラン
■オープンサポート費用1,300,000円（税別）※初回契約時のみ
■研修費0円、月会費0円、広告協賛金0円
■ロイヤリティ月額20,000円（税別）

3 クチコミ評価4.0以上の蕎麦屋
take
蕎麦はすでに国民食として親しまれ、時代の変化や流行りに左おされる商材ではありません。駅構内の立ち食い蕎麦から吉民家スタイルまで、立地やスペースを問わず店舗を運営することができます。麺・出汁は供給しますので、店内での麺作りや仕込みはありません。屋号は自由。営業時間や定休日もお任せします。
省スペース5坪～ お1人での店舗運営可能
開業支援プラン
■オープンサポート費用800,000円（税別）※初回契約時のみ
■研修費0円、月会費0円、各種デザイン・販促費0円
■ロイヤリティ月額10,000円（税別）

オーナー様のご要望に合わせた、オーダーメイドでの店舗作りが可能です。
■資料請求や説明会のご参加は、お電話またはメールにてお申込みください。
担当／末廣（すえひろ）
086-454-4405　E-mail: info@gp-staff.co.jp
ジーピースタッフ株式会社
〒710-0132 岡山県倉敷市藤戸町天城736-7
https://www.gp-staff.co.jp/